

まちの図書館応援隊

～地元の編集事務所や企業に支えられる広報紙「発見！としょかん」～

三次市立図書館(広島県三次市)

URL: <https://tosho.city.miyoshi.hiroshima.jp/>

テーマ

その他(図書館と地元編集事務所の連携)

取組概要

広報紙の作成を地元編集事務所と協働で行い、地元企業の広告を「まちの図書館応援隊」として広報紙に掲載することで図書館と企業がともに応援しあえる関係を進めて地域の活性化に貢献していく。

取組詳細

三次市立図書館は三次市が100%出資の株式会社「暮らしサポートみよし」が指定管理制度で運営している図書館である。会社の経営理念の一つに「新しい公共サービスのあり方を追求する」とあり民間と関わりながらより良い図書館にしたいという思いで、これまでも地元商工会議所の開催する「まちゼミ」へ参加してきた。

■「発見！としょかん」の発行と課題

三次市内には市町村合併後8館の図書館ができ、それぞれの館で広報紙を発行している。主に来館者を対象とした配布しかできていないため、市民に広く情報が行き届き、8館が一つの館とアピールできるよう平成28年5月より全戸配布の広報紙「発見！としょかん」を年4回、発行することにした。制作はすべて図書館で行い、印刷と配布を印刷会社に依頼した。広告を集めて費用の一部とするため、営業も職員が行ったが毎回苦戦していた。作成に関しても専用のソフトがなく紙面のクオリティを上げることが難しくなっていた。

■編集事務所「Lupine(ルパイン)」との連携による課題解決と相乗効果

三次市で子育て世代を対象とした雑誌「cappemam(カッペマ)」を発行する編集事務所「Lupine(ルパイン)」の榎原祐美さんが図書館協議委員となり「発見！としょかん」の手伝いの申し入れがあった。令和5年より次の役割分担で紙面を一新した。

・図書館の担当－内容・原稿・校正

・編集事務所の担当－表紙等の写真撮影・編集・広告の営業・作成・印刷発注・配布場所への配達

広告収入は編集事務所とすることで図書館は費用負担がない発行が実現した。初月号から「まちの図書館応援隊」として18社の広告が集まった。その中から一店「本でつながるまちのお店を紹介」とピックアップしてオーナーさんがお店とおすすめの本を紹介する記事もあり読者が両方に関心をもてる紙面となった。

■「まちの図書館応援隊」を図書館も応援して地域の活性化

図書館内でも「本でつながるまちのお店を紹介」の紹介本、チラシ、パンフレット、製品を借りて 図書館の関連資料と一緒に展示するコーナーを作成。目を引く展示で、貸出利用につながった。またお互いにSNSで発信も行い、お店への反響があったという声ももらっている。



新しい表紙



応援隊のページと展示の様子

基本データ

(数値は令和5年現在)

住所

広島県三次市十日市東三丁目
14番1号

人口

(図書館が所在する市町村)
4.8万人

職員数(うち有資格者数)

10人(9人)

蔵書数

約15万冊

取組の成果と今後

- ・紙面が一新し、紹介の本だけでなく、記事内容への問い合わせもあり、目に留まりやすくなった。
- ・応援隊の企業が、図書館イベントへの飲食ブースの出店にもつながるなど、図書館と地域企業との交流の幅が広がってきた。
- ・紙面に共感する企業の反響が大きく次年度は応援隊の数も増える予定。
- ・編集者との連携が出来たことで、職員を対象としたチラシの作成講座の研修を行い、職員のスキルアップにも繋がった。
- ・今後は応援隊による図書館でのワークショップやイベント参加を増やしたり、図書館を通じての情報発信から地域活性化に貢献していきたい。